

令和6年度

グループホーム 柳原 金さん銀さん

# 自己評価・外部評価・運営推進会議評価表

特定非営利活動法人 生活支援センター アットホーム新川

## 自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
<b>I. 理念・安心と安全に基づく運営</b>							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 充分にできている ⑤ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	理念は、玄関やトイレに貼り、いつでも目に入るようにしている。 施設独自の活動目標を職員全員で毎年決めている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている B. ほぼできている ③ あまりできていない D. ほとんどできていない	地域との交流がなかなか出ていない。 毎月広報を作成し、活動内容を地域回覧で知らせている。	ボランティアの受け入れや地域行事への参加が少しずつ増えてきている。(児童クラブの神輿、作品展等)		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできている ⑤ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議でのご意見を施設運営に反映させている。 運営推進会議で外部評価をお願いし、その結果を次年度の活動に活かすようにしている。	意見を反映していてよい。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 充分にできている ⑤ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	2カ月毎の運営推進会議に参加いただき、指導助言や意見などをいただいている。 事故報告などは速やかに報告している。	報告などもしっかりされていますので、市には気軽に何でも聞いていただければと思います。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 充分にできている ⑤ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	虐待防止と身体拘束については、全職員研修を毎年実施。		A. 充分にできている ⑤ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 充分にできている ⑤ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	虐待防止と身体拘束については、全職員研修を毎年実施。 スピーチロクゼロは難しいが職員相互でチェックしている。 職員会議にて、虐待について話し合う機会を設けている。		A. 充分にできている ⑤ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている ⑤ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一部職員は研修を受けており、成年後見制度等に関して家族などからの相談に対しては本部事務所から支援する体制がある。			

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	契約の締結等は本部事務所で行い、事務所職員とケアマネージャーが不安や疑問について丁寧に説明を行っている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	家族からの意見や要望は自由に発言していただき記録している。 毎月の広報には家族への個別メッセージを手書きしている。		<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	職員会議の意見をマネージャー会議や各種委員会を通し法人本部に提案、運営に役立てている。 職員個人からの意見等は個別面談を実施している。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	職員負担の軽減を目指し、介護記録のデジタル化や介護ロボット導入などを行っている。 キャリアパス制度も導入し、昇級の明確化を実施。 職員不足により時間外勤務をすることがある。		<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	平成29年度から介護労働安定センターの協力で、管理者研修・全職員研修などを実施している。		<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	介護職に限らず他の職種にも研修の場があることは良いと思います。意識の向上。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ以降同業者との交流は行っていない。 法人内では各種委員会などで各事業所間の意見交流を実施。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者の自立度や思いを考慮してケアを行うようにしている。 家に帰りたいと言われる方が多いが、その都度傾聴して対応している。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないうち、支援に努めている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	面会制限を緩和し、居室で家族等の面会を再開している。 近くの店へ短時間買い物に出かけたり、ドライブに行き、近隣を回ったりしている。	居室で面会が出来るのは良いと思う (玄関での施設も多い)		

Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の要望を聞きながら行っている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	「より良く暮らすための課題とケアのあり方」について職員間の情報共有を進め、家族や本人の意向を踏まえてケアに反映している。	情報のデジタル化で職員間の情報共有の現状説明	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ケア記録のデジタル化で職員全員での情報の共有化が出来るようになってきているが、記録漏れもある。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われず、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	緊急な受診または、家族が県外の方は職員で対応することがある。必要に応じて、雑貨や衣類の購入も行っている。 一人ひとりの思いに添ったレクリエーションを企画している。	家族形態の多様化とこれに合わせたサービスの提供の現状を説明 買い物ツアーや、作品展への出展などがあると良い。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の意思を尊重しながら、意見を聞き楽しんでもらうよう行っている。 身近な資源(近所のパラ園等)を活用してレクリエーションを企画している	地域資源の活用として神輿の巡行などのコロナ禍以前の活動を振り返り、今後の活動について意見交換		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人や家族の希望される医院へ受診している。 医師からの診察結果など必要事項はケア記録に記載している。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院時サマリーの送付をしたり、連携室との相談を密に行い、医療状況を尊重し、早期の退院などに配慮している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	看取りは行っていない。 重度化しそうな段階で家族と協議し、その後の対応の支援を行っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	救命救急の講習は受けてはいるが、緊急時に対応出来るか不安である。 緊急時には、救急車の要請を原則としている。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	年2回の避難訓練や、シェイクアウト訓練を行っており、災害時のマニュアルもあるが、職員一人体制時の災害が起きた場合には不安がある。	おかゆ、レトルトカレー、水、アクエリアス、カセットコンロ1台が現在ありますが、逐次見直しを行っていきます。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	備蓄品はどれくらい(何日分)ありますか？
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている B. ③ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの人格を尊重し、声掛けには十分気を付けている。 居室は全て個室であり、プライバシーに配慮したケアを実践。 全職員研修を実施。		A. 充分にできている B. ③ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 充分にできている B. ③ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	基本的には入居者の思いを優先するとしているが、職員目線になることがある。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている B. ③ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	出来る範囲で利用者に準備や後片付けをお願いしている。		A. 充分にできている B. ③ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. ④充分にできている B. ③ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	水分は本人の好きな物を飲んでもらうようにしている。 食事は個々に合った大きさに刻んで提供している。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている B. ③ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	拒否される場合もあり、無理せずに行っている。		A. 充分にできている B. ③ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	

31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	1人一人に応じた声掛けや介助に努めている。 排泄管理はケア記録で情報を共有して行っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に合った支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	拒否のある方には無理強いせず、いつでも声掛けを行い週2回入ってもらえるようにしている。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自由に過ごしていただいているが、昼夜逆転の場合は日中起きていただくよう声掛けしている。 睡眠状態を眠りスキャンで自動記録し、状態を把握している。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	薬については職員間で共有をし、毎日確認している。誤薬の無いように気を付けている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員でチェックする体制はあるものの誤薬がある。管理方法を再検討した方がよいのではないか。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの生活歴や嗜好を元に役割などを決めレクリエーションを企画しているが、拒否のある方もいるので、スムーズな運営が出来ない。	利用者の現状と活動状況について説明。 最近、利用者の入退去で利用者間の会話も増えて生活環境に変化がみられる。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	帰宅願望の強い方が多く、本人の希望で外に出ることはなかなかできていないが、散歩やドライブ、近所へバラの観賞や、服を買いに衣料品店などに出かけている。	コロナの5類移行で外出支援をさらに増やしたい。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	小遣いは職員で管理していて、直接的に利用者が金銭の管理をすることはしない。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族からの電話を本人に取り次ぐ。 LINEのテレビ電話を使い利用者のご家族の対面を支援。			

39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまわくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個人スペースと共有スペースの区分がはっきりしており、利用者自身の思いで使い分けている。 生活面での強要は行っていない。 (危険物以外は持ち込み許可)		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
<b>IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)</b>							
40		本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家に帰りたいということの実現は難しいが、レクリエーションなどは、本人の意向を踏まえて計画する。			
41	本人主体の暮らし	本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者個々のアセスメント(来歴等)とモニタリング(日常の状態及びニーズ等)の情報を元にケアや支援を実施している。(情報のデジタル化で共有を進めている)			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者個々の指定医による定期往診や日常の規則正しい生活スケジュール(体操・口腔ケア・バイタル測定等)を実施している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	共同生活の中で、本人の希望(アセスメントやモニタリングも含め)に沿った生活できるよう支援を工夫している。(レク希望等)			
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	火器類や危険物の持ち込みは制限しているが、それ以外の持ち込みは制限していない。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員1人体制時の外出願望が多く希望時に外出はなかなか出来ない。	日中の外出支援の見直しについて		
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の出来ることを念頭に普段のレクや生活の役割分担をお願いしている。			

47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の生活の中で、リビングの隣の方などの日常会話がよく見られる。 職員もその会話に参加し話が盛り上がるようにする。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍以降、近隣や地域の方との交流が出来ていない。	近所の方に行事等の案内文を配布するのも良いか？		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍で地域との交流は出来ないが、入居者同士の会話や職員とのレクリエーションで、潤いのある生活を送れるよう工夫している。	地域との交流を増やせるようにレクリエーション企画等を考える。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	同じ空間の中にいるのでリフレッシュは必要だと思う。